

## 令和5年度 多職種連携研修計画（案）

## （1）相互理解の促進

①オープンカンファレンス（年度中に検討）

②研修会等コーディネート

各関係団体へ連絡・確認：6月に確認書類 配布

\*医療・介護各関係団体窓口一覧の内容の確認，更新

## （2）連携強化

①看取り

令和5年度厚生労働省委託事業 人生の最終段階における医療体制整備事業

本人の意向を尊重した意思決定のための相談員研修会 在宅医療・高齢者施設従事者版  
E-Field Home 函館開催

目的：本人の意思を尊重した人生の最終段階における医療・ケアを実現するため、医療機関や在宅医療の場等において、「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」（平成30年3月改訂厚生労働省）。（以下、「ガイドライン」という。）に則って、人生の最終段階における医療・ケアに関する意思決定等の際に本人や家族等の相談に乗り、必要に応じて関係者の調整を行う相談員を含む医療・ケアチームの育成をすること、また、医療従事者等にガイドライン及び人生会議（ACP:アドバンス・ケア・プランニング）への理解を深めてもらうことで、人生の最終段階における医療・ケアについて本人の意思が尊重される環境整備に資することを目的とする。

日時：令和5年6月10日（土）9時～17時

場所：函館市民会館

方法：集合開催

形態：講義・グループワーク・個人ワーク

定員：70～80名程度

- 参加資格：1. 函館市・北斗市・七飯町の人生の最終段階における医療・ケアに関する意思決定に携わっている医療福祉従事者（医師・看護師・MSW・ケアマネジャー・施設ケアスタッフ等）
2. 上記の医療福祉従事者は、原則として、研修会受講時点において、人生の最終段階における医療・ケアに携わる者としての経験が3年以上であることが望ましく、研修修了後も引き続き、当該医療・ケアに携わる予定である者であること
3. 研修修了後、本事業に協力し、各医療機関等において「人生の最終段階における本人の意向を尊重した意思決定支援」を実践すること
4. 本事業にかかる調査や研究等に協力すること
5. 本研修会を修了したことについて、厚生労働省及び都道府県に対して、氏名、所属及び連絡先と併せて報告することに同意すること

講 師：川口 篤也 先生（函館稜北病院副院長 総合診療科科長）  
宇都宮 宏子 先生（宇都宮宏子オフィス）  
加藤 忠相 先生（あおいけあ）  
佐々木 淳 先生（医療法人社団 悠翔会）  
古屋 聡 先生（山梨市立牧丘病院）  
山岸 暁美 先生（慶応義塾大学医学部）

## ②看取り or 連携強化 or 看取り&連携強化

### 第8回函館市医療・介護連携多職種研修会

（ほくと・ななえ医療・介護連携支援センター共催）

日 時：令和5年10月21日（土）14時～17時

場 所：国際ホテル

方 法：集合開催

形 態：事例報告，グループワーク

対 象 者：函館市・北斗市・七飯町の医療・介護関連従事者

座 長：函館稜北病院 川口篤也先生

（案1：看取り）

テ ー マ：想いを聞いてますか？点から線につながろう

～看取り，急変時，入退院支援，日常の療養生活 4つの場面で考える～

- 目 的：1. 想いを聞く支援の実際を知る  
2. 想いを聞く支援の実践事例から，多職種連携の必要性を理解する  
3. 明日から自職種で何ができるかを考える事ができる

内 容：

#### ○報告・ディスカッション

（案）4つの場面から本人の想いを叶えるための支援について報告

事例報告1：日常の療養生活の場面から

事例報告2：入退院支援の場面から

事例報告3：急変時の場面から

事例報告4：看取りの場面から

OGW：

（案）事例報告をもとに感想を述べ，多職種連携をとるにはどうしたらいいのか

自職種では何ができるか等を話し合い，発表してもらう

（講師の方々への質問も含めて）

講 師：未定

※函館市，北斗市，七飯町で勤務する職員にお願いする

(案2：連携強化)

テ ー マ：在宅・施設療養の可能性を広げるために

- 目 的：1. 4つの場面の支援の実際（変化と課題）を知る  
2. 4つの場面の事例から，多職種連携の必要性を理解する  
3. 明日から自職種で何ができるかを考える事ができる

内 容：

○報告・ディスカッション

(案) 4つの場面からそれぞれの変化と課題の報告

事例報告1：日常の療養支援の場面から

事例報告2：入退院支援の場面から

事例報告3：急変時の場面から

事例報告4：看取りの場面から

OGW：

(案) 事例報告をもとに感想を述べ，多職種連携をとるにはどうしたらいいのか  
自職種では何ができるか等を話し合い，発表してもらう

(講師の方々への質問も含めて)

講 師：未定

※函館市，北斗市，七飯町で勤務する職員にお願いする

(案3：看取り&連携強化)

テ ー マ：「点から線につながろう」

～本人の想いを聞いてますか？連携による地域の変化と今後の課題～

- 目 的：1. 本人の想いを聞く支援の実際を知る  
2. 在宅・施設療養の可能性を広げる  
3. 地域の変化と課題を考える  
4. 4つの場面の事例から，多職種連携の必要性を理解する  
5. 明日から自職種で何ができるかを考える事ができる

内 容：

○報告・ディスカッション

(案) 本人の想いを叶えるための支援と連携による地域の変化と課題の報告

事例報告1：日常の療養生活の場面から

事例報告2：入退院支援の場面から

事例報告3：急変時の場面から

事例報告4：看取りの場面から

OGW：

(案) 事例報告をもとに感想を述べ，多職種連携をとるにはどうしたらいいのか  
自職種では何ができるか等を話し合い，発表してもらう

(講師の方々への質問も含めて)

講 師：未定

※函館市，北斗市，七飯町で勤務する職員にお願いする

### ③入退院支援

「入退院支援連携強化研修会（ガイド編）」（退院支援分科会主催）

「入退院支援連携強化研修会（サマリー編）」（情報共有ツール作業部会主催）

※各部会・分科会にて開催検討

### ④急変時対応（急変時対応分科会実務者会議主催）

※実務者会議にて検討

## （3）多職種連携の専門性の向上

○函館市における多職種連携への理解の促進

・出張講座メニューの追加・更新及び各関係団体へ周知・案内の継続

## （4）人材育成

○センター主催研修会への見学参加

・市内の医療系・福祉系の教育機関に研修案内・出前講座を継続する

・出前講座メニューの追加・更新及び各教育機関への周知・案内の継続